

In-Sight® Explorer 5.7.0 リリースノート

© Copyright 1999-2019 Cognex Corporation. All rights reserved.

Revision: 5.7.0.2, 04/10/2019

概要

本書は In-Sight Explorer ソフトウェアについて説明します。本書は次のトピックから構成されています。

- [システム要件](#)
- [新しい機能](#)
- [修正点](#)
- [既知の問題](#)

注: 最新のリリースノートやドキュメンテーション (各国語版も含む) は、[In-Sight オンラインサポートセンター](#)でダウンロードできます。In-Sight Explorer ユーザインタフェースおよび Microsoft® Windows® スタートメニューから、更新されたドキュメンテーションにアクセスするには、次のステップに従ってください。

1. 管理者権限を持って PC にログオンします。
2. インストールディレクトリ内の適切なロケーションにダウンロードしたドキュメンテーションをコピーします。デフォルトのロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation です。

システム要件

この説では、In-Sight Explorer ソフトウェアのシステム要件について説明します。

PC ハードウェア最小要件

ハードウェアの最小要件とは、In-Sight の処理負荷が低い環境で、解像度の低い In-Sight ビジョンシステムを 1 台だけ接続している PC を指します。

- 1.8GHz 動作の Intel® Celeron® 1000M プロセッサ (または同等品)
- 2GB の RAM 空き容量
- 4GB のハードディスク空き容量
- 24 ビットカラーで解像度 1024×768 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
- In-Sight ビジョンシステムに接続するためのイーサネットネットワークインタフェースカード (100Mbps 以上)

PC ハードウェア推奨要件

推奨されるハードウェア要件とは、同時に 4 台までの In-Sight ビジョンシステムを接続している PC を指します。

- 2.7GHz 動作の Intel® Core™ i7 プロセッサ (または同等品)
- 4GB の RAM 空き容量
- 8GB のハードディスク空き容量
- 32 ビットカラーで解像度 1920×1080 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
- In-Sight ビジョンシステムに接続するためのギガビット・イーサネットネットワークインタフェースカード

オペレーティングシステム要件

In-Sight ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムで動作することを確認しています。

- Microsoft Windows 10 Professional (64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Professional、サービスパック 1 (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2016

In-Sight Explorer はそのほかの Windows オペレーティングシステムにもインストール可能で、動作することがありますが、前述の要件を満たさないシステムはサポート対象外です。

言語サポート

- 中国語 (簡体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語 (ヨーロッパ系)

サポートしているファームウェアバージョン

In-Sight 5.7.0 ソフトウェアには、次のファームウェアバージョンが含まれています。

- In-Sight 5.7.0
- In-Sight 5.3.3
- In-Sight 4.10.5

以前のファームウェアを搭載している In-Sight ビジョンシステムは正常に操作することもあります。サポートされていない機能があり、また十分にテストが行われていません。最適なパフォーマンスを得るには、In-Sight Explorer ソフトウェアおよびファームウェアは、最新バージョンを使用してください。モデル一覧およびサポートされているファームウェアバージョンについては、英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプの「Firmware Versions」(ファームウェアバージョンのトピック) をご参照ください。英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのデフォルトロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation\Help\Help_ISE_EN.chm です。

In-Sight ファームウェア 5.7.0

- In-Sight 2000 シリーズビジョンセンサ
- In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステム
- In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Micro 8000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 9000 シリーズビジョンシステム

In-Sight ファームウェア 5.3.3

- In-Sight Advantage Engine

In-Sight ファームウェア 4.10.5

- In-Sight Micro 1000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 5000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムを除く)
- In-Sight 7000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムを除く)

Microsoft .NET Framework 4.5

In-Sight ソフトウェアには、Microsoft .NET Framework 4.5 が必要です。システムに検出されない場合、自動的にインストールされます。

新しい機能

| 新しい機能 | ファームウェアバージョン |
|--|----------------|
| In-Sight 9912 および 9912C ビジョンシステムを新たにサポートするようになりました。 | 5.7.0 |
| Cognex URcaps プラグインをサポートするようになりました。ユニバーサルロボットと統合して視覚誘導によるピックアンドプレース用のハンドアイキャリブレーションプロトコルを有効にし、Cognex 2D ビジョンシステムとユニバーサルロボットの間にアプリケーションを設置します。このプラグインは、ロボットとビジョンシステム間の通信に Cognex Robot Library を使用します。この機能は、In-Sight 2000 ビジョンセンサを除く In-Sight ビジョンシステムで、EasyBuilder のみサポートされています。 | 5.7.0 |
| ロボットキャリブレーションツールを追加しました。ビジョンツールをロボットキャリブレーション関数にリンクし、ピクセル座標をポーズに変換して、EasyBuilder にキャリブレーションファイルを自動的に作成します。このツールは、In-Sight 2000 ビジョンセンサではサポートされていません。 | 5.7.0 |
| ロボットガイダンスツールを追加しました。ビジョンシステムから、ロボットにパーツの位置を通信します。このツールは、In-Sight 2000 ビジョンセンサではサポートされていません。 | 5.7.0 |
| ハイダイナミックレンジ (HDR) をサポートするようになりました。露出過多または露出不足のない、均等に露出された画像を提供します。2 種類の HDR モード (HDR および HDR+) がサポートされています。In-Sight 7905 および In-Sight 9912 モノクロームビジョンシステムのみでサポートされています。 | 5.7.0 |
| In-Sight 9902L ラインスキャンビジョンシステムが CIO-MICRO および CIO-1400 I/O モジュールをサポートするようになりました。 | 5.7.0 |
| In-Sight Web HMI に次の機能が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> [画像の解像度] オプションが [HMI の設定] ダイアログに追加されました。 ビジョンシステム/センサ、ローカル PC、またはリモートロケーションからのジョブの読み込みと保存のサポートが追加されました。 | 5.7.0 |
| [スプレッドシートナビゲータ] ペインが追加されました。スプレッドシートの概要を表示し、ジョブファイルをすばやくナビゲートすることができます。 | 5.7.0 & 4.10.5 |
| パッシブ FTP モードのサポートが追加されました。外部からの接続を許可しないファイアウォールを介して、FTP クライアントにアクセスすることができます。 | 5.7.0 & 4.10.5 |
| [CC-Link IE フィールド Basic] プロトコルが [ネットワークの設定] ダイアログの [産業用イーサネットプロトコル] セクションに追加されました。 | 5.7.0 |
| [CC-Link IE フィールド Basic] プロトコルが [通信] アプリケーションステップに追加されました。 | 5.7.0 |

修正点

注:

- 以前のリリースの変更内容については、以前のリリースノートを参照してください。5.x.x リリースノートは『In-Sight Explorer ヘルプファイル』でもご覧いただけます。
- Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に Change Request 番号 (CR#) が付与されています。

| CR# | 変更/修正 | ファームウェアバージョン |
|-----|--|----------------|
| N/A | In-Sight Explorer を、32 ビットまたは 64 ビットのアプリケーションとしてインストールすることができるようになりました。デフォルトのインストールロケーションに変更はありません。32 ビットおよび 64 ビット、両方のオペレーティングシステムにおいて、次のロケーションにインストールされます: C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x。 | 5.7.0 & 4.10.5 |

| CR# | 変更/修正 | ファームウェアバージョン |
|-------|--|--------------------|
| N/A | In-Sight 2000 シリーズセンサで、EasyBuilder のパターン位置決めツールおよび検査ツールが変更され、パターン検出の精度および単一のパターンのアプリケーションにおける処理時間が改善されました。 注: <ul style="list-style-type: none">● パターン (1-10) ツールでは、変更はありません。● このツール含むジョブを In-Sight ファームウェア 5.7.0 以降で設定した場合、ファームウェアバージョン 5.6.x 以前を搭載した In-Sight ビジョンシステムにジョブをロードしようとすると、エラーメッセージが表示され、ジョブロードに失敗します。 | 5.7.0 |
| N/A | 9902L ラインスキャンビジョンシステムを In-Sight ファームウェア 5.6.1 PR1 から In-Sight ファームウェアバージョン 5.7.0 にアップグレードすると、ビジョンシステムの RAM が 512MB から 832MB に増加します。アップグレードした後、In-Sight ファームウェアバージョン 5.7.0 から In-Sight ファームウェア 5.6.1 にダウングレードすると、ビジョンシステムの RAM が元の 512MB に戻ってしまうことにご注意ください。 | 5.7.0 |
| 81794 | In-Sight 2000 シリーズビジョンセンサが、Set Integer (SI)、Set Float (SF)、Set Event 8 (SE8) および Set Event and Wait 8 (SW8) ベーシックネイティブモードコマンドをサポートするようになりました。 | 5.7.0 |
| 81464 | In-Sight 9902L ラインビジョンシステムがオンライン中に、ビジョンシステムをオフラインにすることなく、AcquireImage の [クリップモード] または [画像取り込み時間] パラメータ値を変更することができるようになりました。 | 5.7.0 |
| 79652 | In-Sight 2000 シリーズビジョンセンサで、最大ビュー接続数 (In-Sight Explorer、VisionView または Web HMI) が 3 に増えました。 | 5.7.0 |
| 79547 | VerifyIDCode 関数の [メトリクス] ドロップダウンリストの [AIM-DPM-契約遵守] オプションが、[ISO 29158 / AIM-DPM-契約遵守] に更新されました。 | 5.7.0 |
| 79345 | Web HMI が使用されている場合、PROFINET サイクリック I/O を 8ms 以上で実行できるようになりました。 | 5.7.0 |
| 79072 | GetAIDescription 関数 (データ・アクセス > GetAIDescription) および GetFieldIdentifier 関数 (データ・アクセス > GetFieldIdentifier) が更新され、GS1 714 アプリケーション識別子 (AI) をサポートするようになりました。 | 5.7.0 & 4.10.5 PR1 |
| 47619 | EasyBuilder 検査ツールの [範囲設定] ボタンが、[オートリミット] に名称変更されました。 | 5.7.0 |

既知の問題

注: Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に Change Request 番号 (CR#) が付与されています。

| CR# | 問題 | ファームウェアバージョン |
|-------|---|----------------------|
| 82479 | In-Sight Explorer 5.7.0 を、Microsoft .NET Framework 3.5 を無効にしたシステムにインストールを試みているときに、Windows Update が処理中の場合、エラーメッセージが表示されることがあります: Error installing Microsoft .NET Framework; Error code 0x800f081f 回避策: Windows Update が完了するのを待って (再起動が必要で)、In-Sight Explorer 5.7.0 をインストールしてください。 | 5.7.0 |
| 82030 | ビジョンシステム/センサを初めて Web HMI に接続しようとした場合、次のエラーメッセージが表示されることがあります: Permission error appears and connection is denied. 回避策: ビジョンシステム/センサを Web HMI に接続する前に、システム上のビジョンシステム/センサを再インストールまたはアップデートしてください。 | 5.7.0, 5.6.1 & 5.6.0 |
| 48478 | In-Sight 5.6.0 ファームウェアが搭載された In-Sight ビジョンシステムに多数の ReadIDMax 関数を使用したジョブがロードされている場合、ビジョンシステム上で使用可能なメモリより多くのメモリが必要となることがあります。その場合、使用可能なメモリを超過した ReadIDMax 関数は #ERR を返してしまいます。例えば、100 以上の ReadIDMax 関数を使用したジョブが In-Sight 8405 ビジョンシステムにロードされている場合、この問題が発生する可能性があります。 | 5.7.0 |
| 45581 | CIP-Sync/PTP に設定した In-Sight 7600/7800 ビジョンシステムでは、トランスパレントクロックスイッチによる 1588 同期の正確性が、マスターからのオフセットより 10µs 以上大きくなる場合があります。 | 5.7.0 |
| 42550 | 5.1.0 以降のファームウェアバージョンを搭載した In-Sight モデルは、In-Sight Track & Trace ジョブをサポートしていません。 | 5.7.0 |
| 35828 | ビジョンシステムが産業用イーサネット通信プロトコルを介してトリガされた場合、ジョブに WriteResultsBuffer 関数が含まれているときのみ JobPass 信号が出力されます。この問題は、EasyBuilder アプリケーションでは発生しません。 | 5.7.0 |

| CR# | 問題 | ファームウェアバージョン |
|-------|--|--------------|
| 32479 | <p>POWERLINK ネットワーク接続中に In-Sight ビジョンシステムのファームウェアをアップデートすると、コード 13710 が表示され、ビジョンシステムに電源を再投入しファイルをリストアする必要があります (ファームウェアは正常にアップデートされます)。</p> <p>回避策: ビジョンシステムのファームウェアをアップデートする前に、次の手順に従って操作してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョンシステムを POWERLINK ネットワークから切断し、In-Sight Explorer を開いている PC と同じサブネット上のネットワークポートにビジョンシステムを接続します。 2. ビジョンシステムに電源を再投入します。 3. イーサネットモードでビジョンシステムのファームウェアをアップデートしてください。 4. ビジョンシステムを POWERLINK ネットワークに戻します。 5. ビジョンシステムに電源を再投入します。 | 4.10.5 |